

【前半活動のまとめ B 班】

■ 展示デザインについて(木村政司先生講義)



■ 科博のコラム展示について(有田寛之先生)

- 見る人が疲れたり、あきさせない様に分かりやすく見せる。
- 説明は 150 字程度で段階をつくって整理をし展示をひきたてる様にする。
- 見方を変えて伝わる美しさを大切にする。
- コラム展示で科学に興味のない人へ興味を持ってもらうようにする。
- インパクトがある色づかいに魅力を感じさせる。おどろかせたり楽しませるなどの工夫をする。
- 説明すれば良いのではなく、相手に伝えることを考える。
- ユーモアを大切にし、アイデアを出してぶつかり合ったり協力する。

■ 野菜ソムリエについて(有田寛之先生)

- 野菜ソムリエは、消費者と生産者をつなぐ役割があるということ。
- 次世代に農業をつなぐ。

■ 味の素川崎工場

- ほんだしに使うかつおは、製品化する身以外の部分(皮・頭・骨)がリサイクルされている。(石灰の材料、飼料など)



■ 米粉パンとごはんパン(奥西智哉先生)

- 小麦粉を米粉に置き換えたパン＝米粉パン
- 小麦粉をごはんに置き換えたパン＝ごはんパン
- 米粉パンの特徴＝高価。調達は大規模。輸送・保管はできない。あまりふくらまない。
- ごはんパンの特徴＝安価。調達は小規模。輸送・保管はできない。小麦粉なみにふくらむ。
- それぞれの特徴を生かして発展していった欲しいと思う。



■ 江戸東京の地場野菜(酒井文子先生) …江戸東京野菜とは江戸時代～昭和30年の間に今の東京23区で作られていた野菜のことです。

- 江戸東京野菜は見た目悪いけど、一つ一つの味は良いので、今後伝わって欲しい。